

総合計画の評価について（説明資料）

■ 評価の目的

(1) 総合計画の進捗管理

第2次菊池市総合計画基本構想に掲げる「市の将来像」を実現するため、前期基本計画に掲げる施策ごとの取組み目標や成果指標を的確に管理し、総合計画の着実な推進を図ります。

(2) 成果重視型の行政運営

評価を通して取組み課題等を抽出、分析し、今後の取組みの改善につなげます。

(3) 市民への説明責任の確保

評価結果を公表し、広く意見や提案をいただくことにより市民参画を推進します。

■ 評価の流れ

(1) 事業評価

35の施策の内容ごとに構成される「事業」について、事業担当者が評価を行います。



(2) 施策評価(35の施策の内容ベース)

「35の施策」について、施策を構成する課局室が評価を行います。



(3) 内部評価(前期3年で目指す10の姿ベース)

35の施策ごとに課局室が行った評価結果を、「前期3年で目指す10の姿」に集約し、企画振興検討委員会が内部評価を行います。



(4) 外部評価(前期3年で目指す10の姿ベース)

上記(3)の「内部評価」結果に対して、識見者や市民などで構成する外部評価委員会が外部評価を行います。

「前期3年で目指す10の姿」内部評価の見方について（説明）

■ 前期3年で目指す10の姿

前期3年で目指す姿（※以下、10の目指す姿）名とその目標を示しています。

■ 施策体系

「10の目指す姿」に構成される「35の施策」を示しています。

■ 平成27年度 of 取組みと振返り

35の施策の平成27年度の「取組み」、担当部署による「振返り」、「達成度」を示しています。

達成度 **達成の目安**

「A」・・・80%以上

「B」・・・60%以上

「C」・・・40%以上

「D」・・・40%未満

■ 施策の成果指標

35の施策に掲げる「成果指標」とそれに応じた「指標結果の分析」を示しています。平成27年度は実績値、平成28年度、29年度は見込値を示しています。さらに、前期基本計画の最終年度にあたる平成29年度の目標値を示しています。

■ 内部評価

内部評価では、10の目指す姿ごとに「評価結果」と「評価所見」を示しています。評価結果は、10の目指す姿ごとに構成している35の施策における「振返り」、「達成度」、「成果指標」、「指標結果の分析」から総合的に判断し、10の目指す姿ごとに、以下の4段階で示しています。また、評価所見では企画振興検討委員会の所見（評価結果の理由）を示しています。

評価結果

評価結果の目安

順調 (A)	目標等を達成し（達成見込みであり）、成果も上がっている。（成果が上がることは確実である。） 【80%以上】
概ね順調 (B)	目標等は概ね達成され（達成見込みであり）、成果も上がっていると認められるが、いくつかの課題や問題点も見受けられる。 【60%以上】
要改善 (C)	目標等の達成（達成見込み）は十分といえず、成果をあげるためには改善の余地を多く残している。 【40%以上】
抜本的な見直し (D)	目標等の達成（達成見込み）には程遠い状況であり、成果を上げるためには、抜本的な見直しが必要である。 【40%未満】